

2019年(令和元年)上期 景気動向調査結果

～非製造業は改善、製造業はやや後退、来期は消費税増税後の懸念強し～

和歌山商工会議所

- 目 的 : 当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間 : 2019年1月1日から2019年6月30日(2019年(令和元年)上期)
- 調査実施期間 : 2019年7月3日から2019年7月26日
- 調査方法 : 郵送によるアンケート方式
- 調査対象 : 常議員・議員・部会副部会長・女性会・青年部・商工振興委員 530事業所
- 回答数 : 回収数 156 (回収率 29.4%)

業 種		従業員数					
		0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	合計
製 造 業		6	17	12	7	12	54
非製造業	建 設 業	3	6	5	3	1	18
	小 売 業	4	4	1	2	3	14
	卸 売 業	2	5	1	3	2	13
	サービス業	13	12	7	7	3	42
	その他業	4	3	2	2	4	15
合 計		32	47	28	24	25	156

● 概 要

2019年上期(1月～6月)の景況感は、非製造業では業況、売上、採算のいずれにおいても改善傾向が見られるものの、製造業では「中国向けの受注減」、「顧客の業績悪化」、「仕入価格の上昇」、「人件費の高騰」等の要因により、前回調査(平成30年12月)に比べやや後退した結果となった。非製造業の景況感を押し上げた要因としては、「台風による特需」、「消費税増税前の駆け込み需要」等が挙げられた。

直面する課題としては、「従業員・熟練技術者の確保難」、「人件費の増加」、「仕入・原材料単価の上昇」が前期に引き続き挙げられ、建設業においては「従業員・熟練技術者の確保難」が、とりわけ大きな課題となっていることが伺えた。

先行きについては、製造業および非製造業ともに今期に比べ厳しい見通しが示され、製造業においては「米中貿易摩擦・日韓の輸出制限」、「半導体業界の悪化」、非製造業においては「人手不足による受注断念」、「人件費の高騰」、「需要の停滞」等が懸念要因として挙げられるとともに、双方ともに消費税増税後の景気悪化への懸念が強く、先行きへの不安が表れた結果となった。

皆様から寄せられた企業、業界の取組み(抜粋)

●製造業

- ・サービスの良さと品質の維持を心掛ける
- ・働き方改革への取り組みとして、有給休暇や給与形態の見直し
- ・工場内の技能者育成
- ・円滑な事業承継
- ・人材の確保
- ・伝統技術の継承
- ・社内生産工程へのロボット導入
- ・新工場の建設、新製品の開発
- ・新規顧客獲得に向けた営業活動
- ・津波など有事への備え
- ・ネット通販への取り組み
- ・ISO9001認証取得

●非製造業

- ・外国人実習生の雇用・教育
- ・大手企業との差別化を図る
- ・若年層の人手不足、積極的な求人活動
- ・HACCPの導入対応
- ・インバウンドの更なる獲得
- ・労働環境の改善
- ・キャッシュレス化への対応
- ・直需業務の拡大

※「DI値」とは

デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「好転(やや好転を含む)」、「増加(やや増加を含む)」、「上昇(やや上昇を含む)」したとする企業割合から、「悪化(やや悪化を含む)」、「減少(やや減少を含む)」、「低下(やや低下を含む)」したとする企業割合を差引いた値。

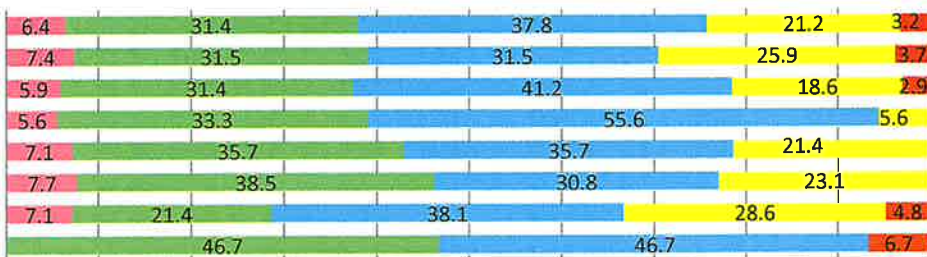
【 業況DI値 】

今期(2019年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 13.5 前期比 8.4)
製造業	(今期 9.3 前期比 ▲15.7)
非製造業	(今期 15.7 前期比 20.0)
建設業	(今期 33.3 前期比 15.1)
小売業	(今期 21.4 前期比 52.7)
卸売業	(今期 23.1 前期比 15.4)
サービス業	(今期 ▲4.8 前期比 ▲7.2)
その他業	(今期 40.0 前期比 70.0)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。好転 緑 やや好転 青 不変 黄 やや悪化 赤 悪化 無回答

今期(2019年1月～6月)の状況

製造業で9.3(前期比▲15.7)、非製造業で15.7(前期比20.0)、全業種で13.5(前期比8.4)となり、非製造業のうち小売業やその他業で前期に比べ大きく好転した。

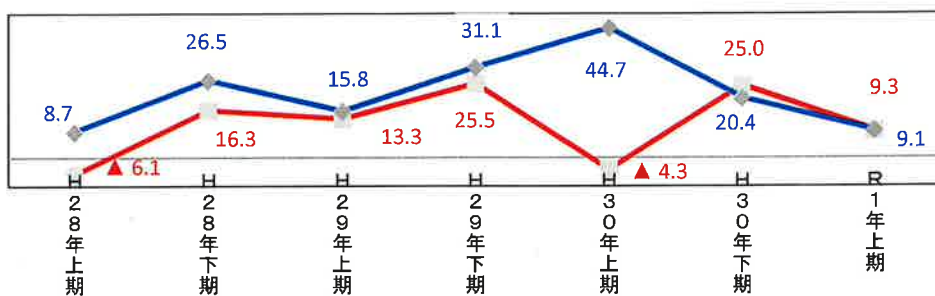
非製造業で好転、やや好転した要因として、「台風による特需」、「消費税増税前の購買拡大」、「原油価格が昨年比で下落している」等が挙げられた。

※前期比とは、前回調査(平成30年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移 製造業

— 今期のDI値

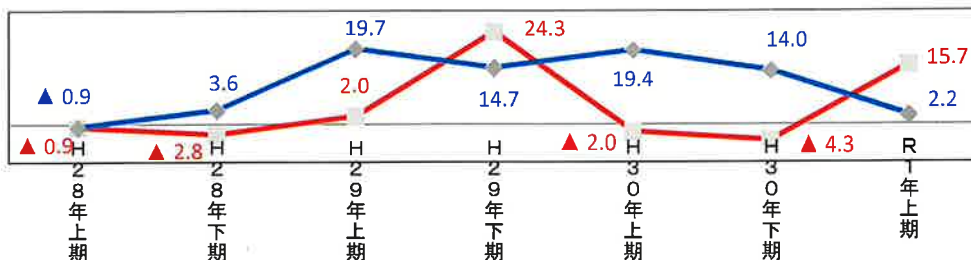
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 今期のDI値

— 前期調査時点での今期見通し

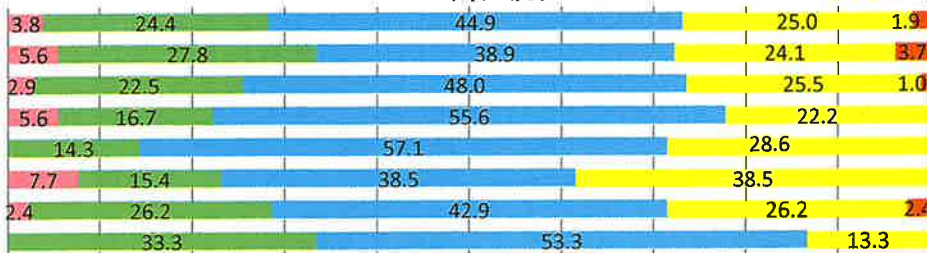


来期(2019年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し 1.3 今期比 ▲12.2)
製造業	(見通し 5.6 今期比 ▲3.7)
非製造業	(見通し ▲1.0 今期比 ▲16.7)
建設業	(見通し 0.0 今期比 ▲33.3)
小売業	(見通し ▲14.3 今期比 ▲35.7)
卸売業	(見通し ▲15.4 今期比 ▲38.5)
サービス業	(見通し 0.0 今期比 4.8)
その他業	(見通し 20.0 今期比 ▲20.0)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

好転 緑 やや好転 青 不変 黄 やや悪化 赤 悪化 無回答

今期と比較した来期(2019年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業では3.7ポイント悪化の5.6、非製造業では16.7ポイント悪化の▲1.0、全業種で12.2ポイント悪化の1.3と見通している。製造業のやや悪化、悪化要因として、「米中貿易摩擦・日韓の輸出制限」、「半導体業界の悪化」、「消費税増税」等が挙げられ、非製造業の同要因としては、「人件費の高騰」、「需要の停滞」等が挙げられた。

今期(2019年1月～6月)のDI値

(売上)

(単位: %)

全業種	(今期 22.4 前期比 4.8)
製造業	(今期 25.9 前期比 ▲19.6)
非製造業	(今期 20.6 前期比 16.3)
建設業	(今期 33.3 前期比 ▲3.1)
小売業	(今期 21.4 前期比 40.2)
卸売業	(今期 23.1 前期比 15.4)
サービス業	(今期 9.5 前期比 7.1)
その他業	(今期 33.3 前期比 23.3)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期(2019年1月～6月)の状況

売上DI値は、製造業で25.9(前期比▲19.6)、非製造業で20.6(前期比16.3)、全業種で22.4(前期比4.8)となり、製造業では減少傾向となったが、非製造業では建設業以外の全ての業種で前期より増加し、全業種として増加傾向に引き上げた。

製造業におけるやや減少、減少要因としては、「中国向けの受注減」、「顧客の業績悪化」等が挙げられる一方、非製造業のやや増加、増加要因としては、「台風による特需」、「消費税増税前の駆け込み需要」、「商品開発」等が挙げられた。

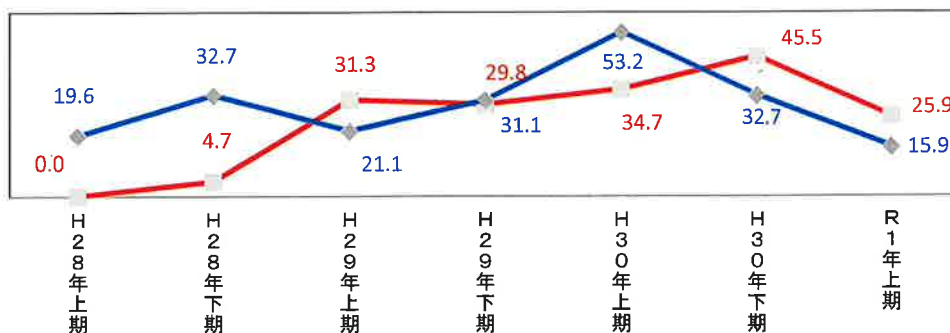
※前期比とは、前回調査(平成30年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

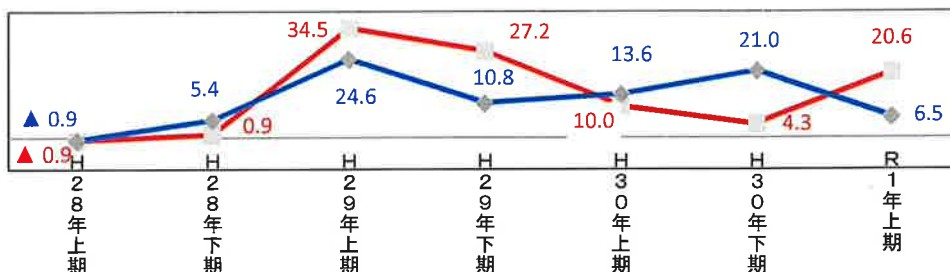
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し

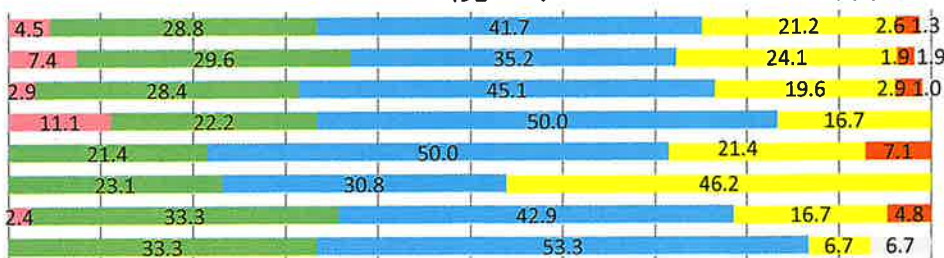


来期(2019年7月～12月)の見通しDI値

(売上)

(単位: %)

全業種	(見通し 9.6 今期比 ▲12.8)
製造業	(見通し 11.1 今期比 ▲14.8)
非製造業	(見通し 8.8 今期比 ▲11.8)
建設業	(見通し 16.7 今期比 ▲16.7)
小売業	(見通し ▲7.1 今期比 ▲28.6)
卸売業	(見通し ▲23.1 今期比 ▲46.2)
サービス業	(見通し 14.3 今期比 4.8)
その他業	(見通し 26.7 今期比 ▲6.7)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期と比較した来期(2019年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で14.8ポイント悪化の11.1、非製造業で11.8ポイント悪化の8.8、全業種で12.8ポイント悪化の9.6と見通している。

製造業におけるやや減少、減少要因として、「需要の停滞」、「消費税増税」等が挙げられ、非製造業の同要因として「人手不足による受注断念」、「顧客数・消費量の減少」、「人件費の高騰」等が挙げられた。

今期(2019年1月～6月)のDI値

(採 算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期(2019年1月～6月)の状況

採算DI値は、製造業で▲3.7(前期比▲21.9)、非製造業で19.6(前期比29.4)、全業種で11.5(前期比12.2)となった。製造業におけるやや悪化、悪化要因として、「仕入価格の上昇」、「人件費の高騰」等が挙げられ、非製造業では全ての業種において前期比で改善し、やや好転、好転要因としては、「直需業務の拡大」、「人件費の削減」、「効率的な事業運営」、「消費税増税前の駆け込み需要」等が挙げられた。

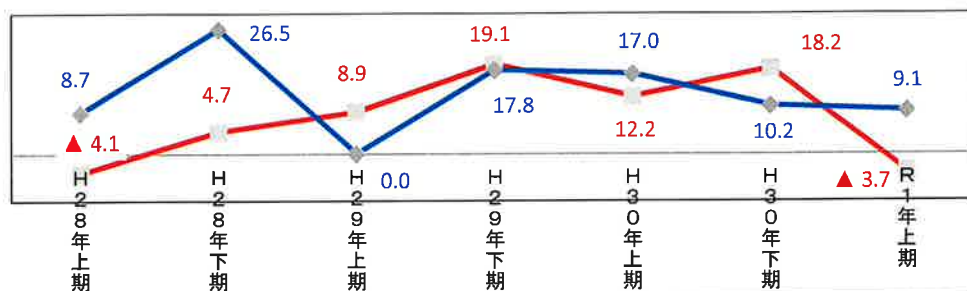
※前期比とは、前回調査(平成30年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

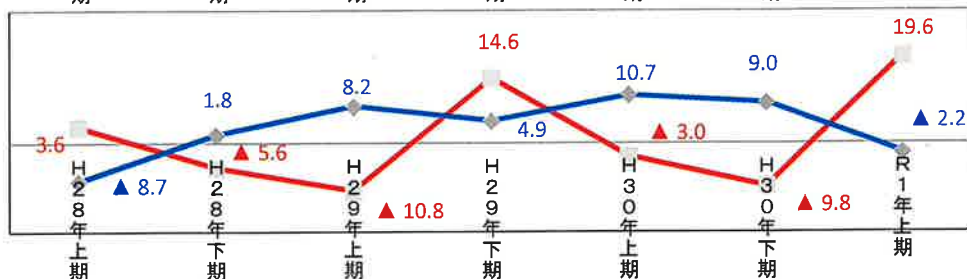
● 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

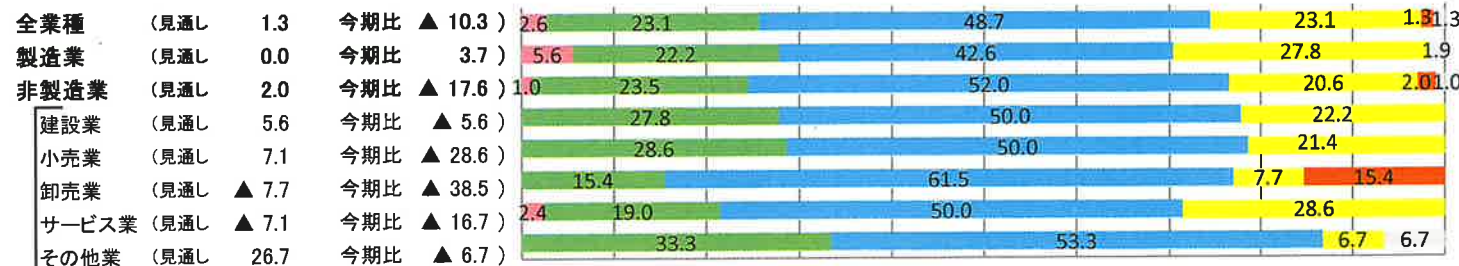
● 前期調査時点での今期見通し



来期(2019年7月～12月)の見通しDI値

(採 算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期と比較した来期(2019年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業で3.7ポイント改善の0.0、非製造業で▲17.6ポイント悪化の2.0、全業種で▲10.3ポイント悪化の1.3と見通している。非製造業では全ての業種において今期比で悪化となり、やや悪化、悪化要因としては「原材料の高騰」、「人件費の高騰」、「販売数量の減少」、「消費税増税による景気悪化」等が挙げられている。

【 資金繰りDI値 】

今期(2019年1月～6月)のDI値

(資金繰り)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期(2019年1月～6月)の状況

資金繰りDI値は、製造業で7.4(前期比▲15.3)、非製造業で16.7(前期比25.4)、全業種で13.5(前期比12.0)となった。製造業は前期に比べ悪化したもののプラス域で推移し、非製造業では全ての業種において前期に比べ改善した。

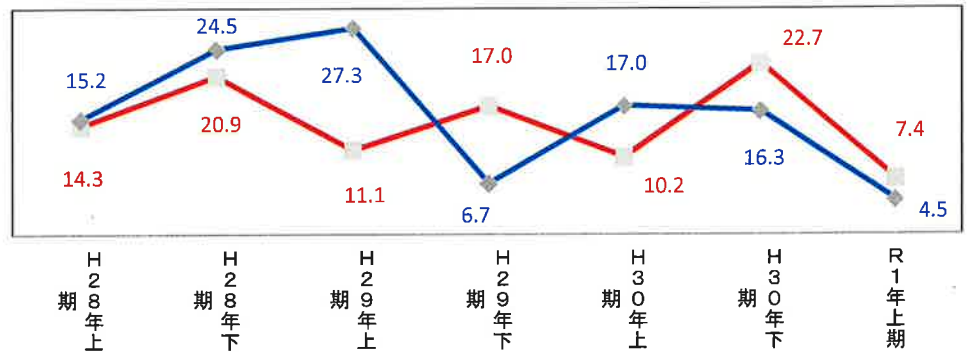
※前期比とは、前回調査(平成30年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

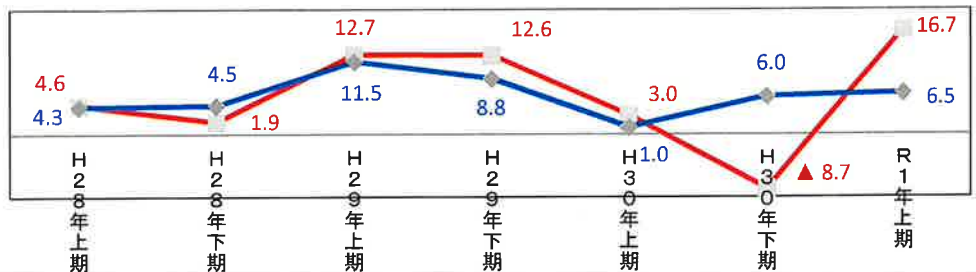
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

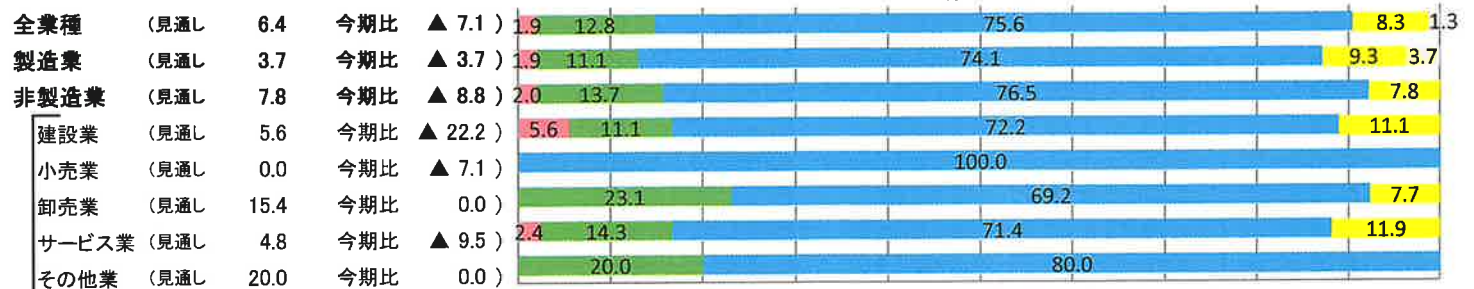
— 前期調査時点での今期見通し



来期(2019年7月～12月)の見通しDI値

(資金繰り)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回

今期と比較した来期(2019年7月～12月)の見通し

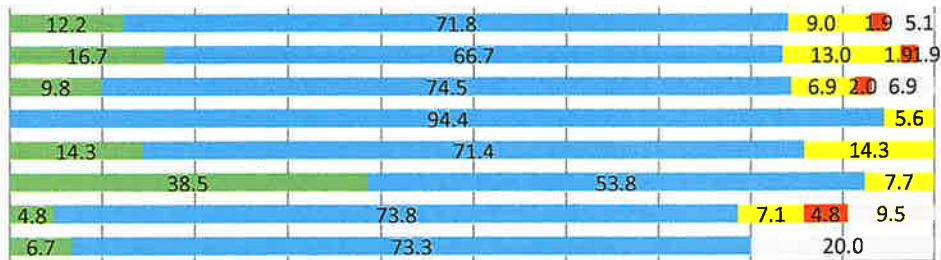
今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で▲3.7ポイント悪化の3.7、非製造業で▲8.8ポイント改善の7.8、全業種で▲7.1ポイント悪化の6.4と見通している。製造業・非製造業ともにプラス域で推移しているものの、卸売業およびその他業で横ばいを示した以外は悪化の見通しとなった。

今期(2019年1月～6月)のDI値

(在庫)

(単位: %)

全業種	(今期 ▲1.3 前期比 3.1)
製造業	(今期 ▲1.9 前期比 2.6)
非製造業	(今期 ▲1.0 前期比 3.3)
建設業	(今期 5.6 前期比 5.6)
小売業	(今期 0.0 前期比 12.5)
卸売業	(今期 ▲30.8 前期比 ▲30.8)
サービス業	(今期 7.1 前期比 14.2)
その他業	(今期 ▲6.7 前期比 ▲16.7)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2019年1月～6月)の状況

在庫DI値は、製造業で▲1.9(前期比2.6)、非製造業で▲1.0(前期比3.3)、全業種で▲1.3(前期比3.1)となった。製造業、非製造業ともに前期比でやや改善したもののマイナス域を脱しておらず、とりわけ「卸売業」、「その他業」では在庫の過剰傾向が見受けられた。

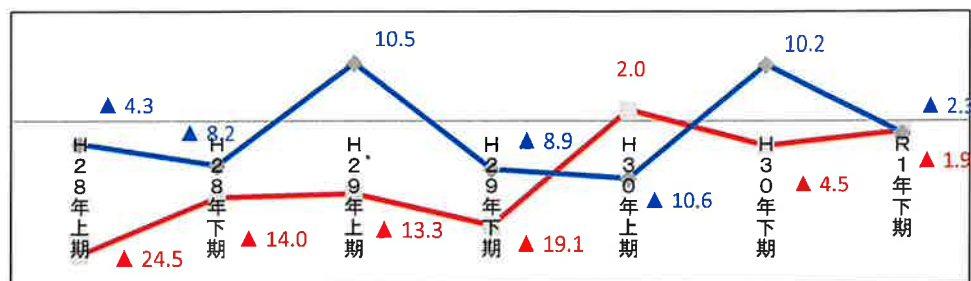
※前期比とは、前回調査(平成30年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

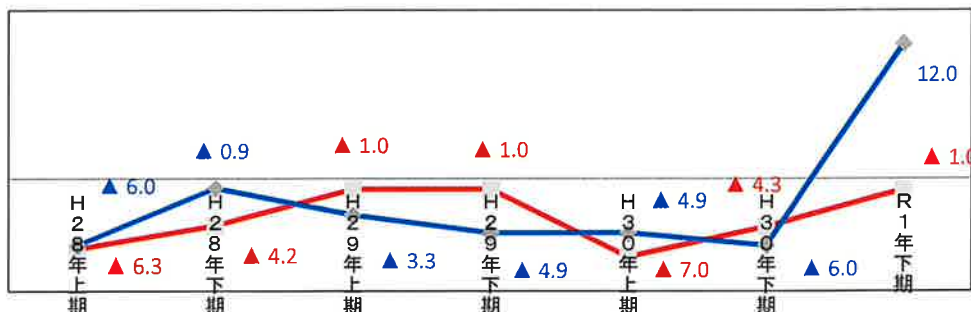
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し



来期(2019年7月～12月)の見通しDI値

(在庫)

(単位: %)

全業種	(見通し 1.3 今期比 2.6)
製造業	(見通し 1.9 今期比 3.7)
非製造業	(見通し 1.0 今期比 2.0)
建設業	(見通し 5.6 今期比 0.0)
小売業	(見通し 14.3 今期比 14.3)
卸売業	(見通し ▲7.7 今期比 23.1)
サービス業	(見通し 0.0 今期比 ▲7.1)
その他業	(見通し ▲6.7 今期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(2019年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で3.7ポイント改善の1.9、非製造業で2.0ポイント改善の1.0、全業種で2.6ポイント改善の1.3と見通している。非製造業では「卸売業」及び「その他業」でマイナスを示し、今期に引き続き在庫過剰の状況が続く見通しとなった。

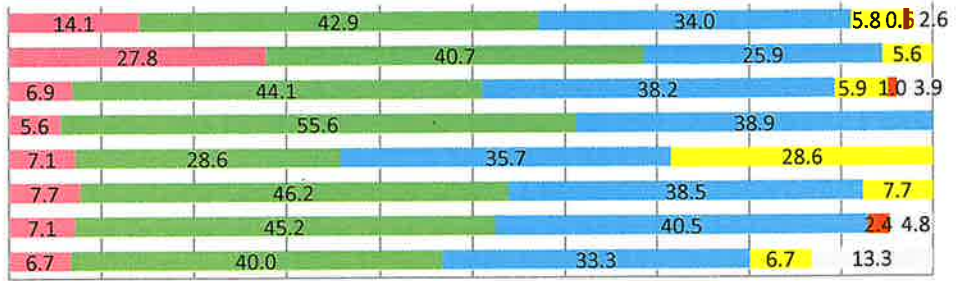
【 仕入単価DI値 】

今期(2019年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 ▲ 50.6 前期比 ▲ 4.3)
製造業	(今期 ▲ 63.0 前期比 9.7)
非製造業	(今期 ▲ 44.1 前期比 ▲ 10.4)
建設業	(今期 ▲ 61.1 前期比 2.5)
小売業	(今期 ▲ 7.1 前期比 36.7)
卸売業	(今期 ▲ 46.2 前期比 ▲ 23.1)
サービス業	(今期 ▲ 50.0 前期比 ▲ 21.4)
その他業	(今期 ▲ 40.0 前期比 ▲ 20.0)

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期(2019年1月～6月)の状況

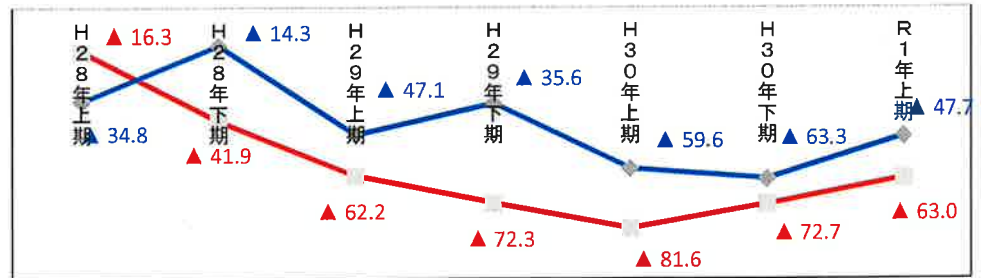
仕入単価DI値は、製造業で▲63.0(前期比9.7)、非製造業▲44.1(前期比▲10.4)、全業種で▲50.6(前期比▲4.3)となった。製造業では、前期比でやや改善が見られるものの依然マイナス域で推移しており、非製造業でも全業種でマイナス域での推移が続くなど仕入単価上昇による影響は依然大きいことが伺える。

※前期比とは、前回調査(平成30年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

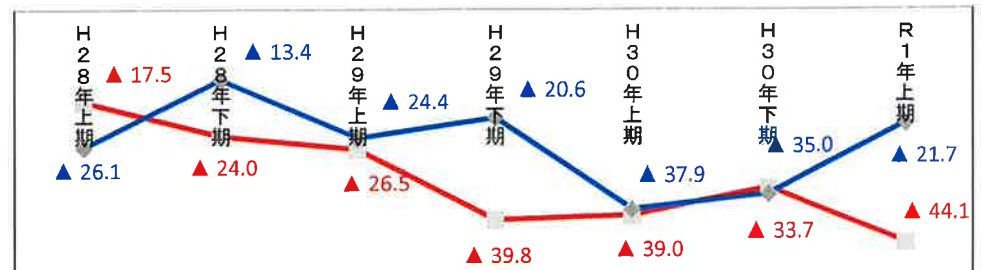
製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



来期(2019年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し ▲ 44.2 今期比 6.4)
製造業	(見通し ▲ 55.6 今期比 7.4)
非製造業	(見通し ▲ 38.2 今期比 5.9)
建設業	(見通し ▲ 61.1 今期比 0.0)
小売業	(見通し ▲ 14.3 今期比 ▲ 7.1)
卸売業	(見通し ▲ 53.8 今期比 ▲ 7.7)
サービス業	(見通し ▲ 33.3 今期比 16.7)
その他業	(見通し ▲ 33.3 今期比 6.7)

(仕入単価)

(単位: %)



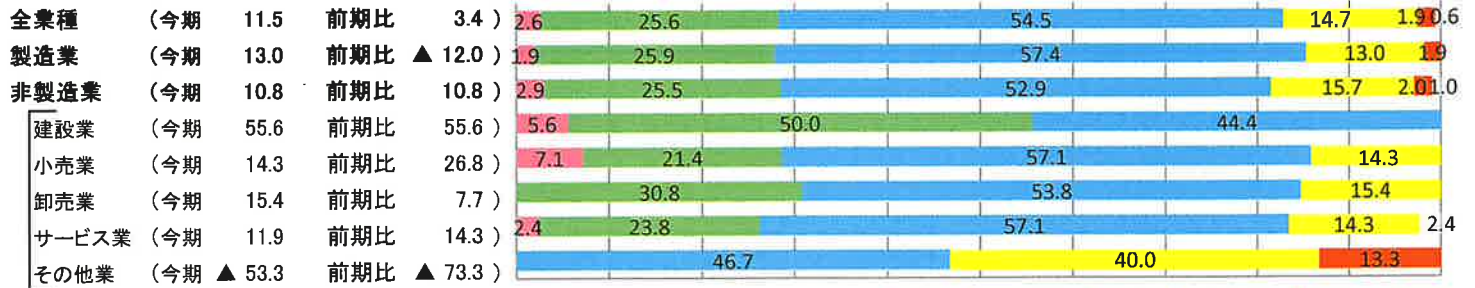
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期と比較した来期(2019年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で7.4ポイント改善の▲55.6、非製造業で5.9ポイント改善の▲38.2、全業種で6.4ポイント改善の▲44.2と見通している。製造業、非製造業ともに今期比で改善傾向を見通しているものの、全業種でプラス域に達することなく引き続き厳しい見通しとなった。

【 従業員数DI値 】

今期(2019年1月～6月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期(2019年1月～6月)の状況

従業員数DI値は、製造業で13.0(前期比▲12.0)、非製造業で10.8(前期比10.8)、全業種で11.5(前期比3.4)となった。製造業では前期に比べ減少傾向を示したものの、非製造業ではその他業以外の全ての業種において前期比でプラスとなり、人手の確保への積極的な取り組みが伺える。

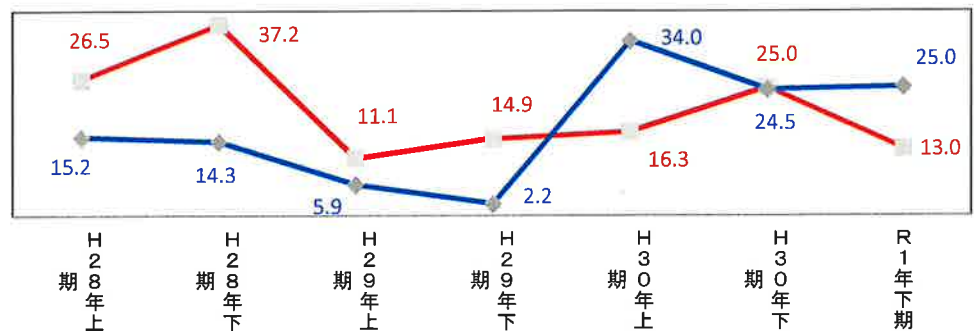
※前期比とは、前回調査(平成30年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

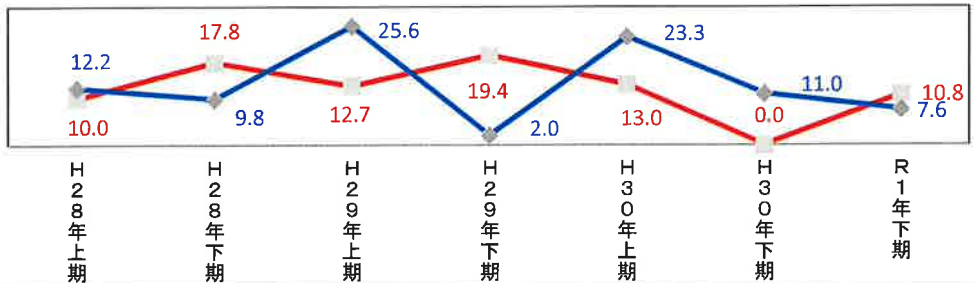
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し



来期(2019年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期と比較した来期(2019年7月～12月)の見通し

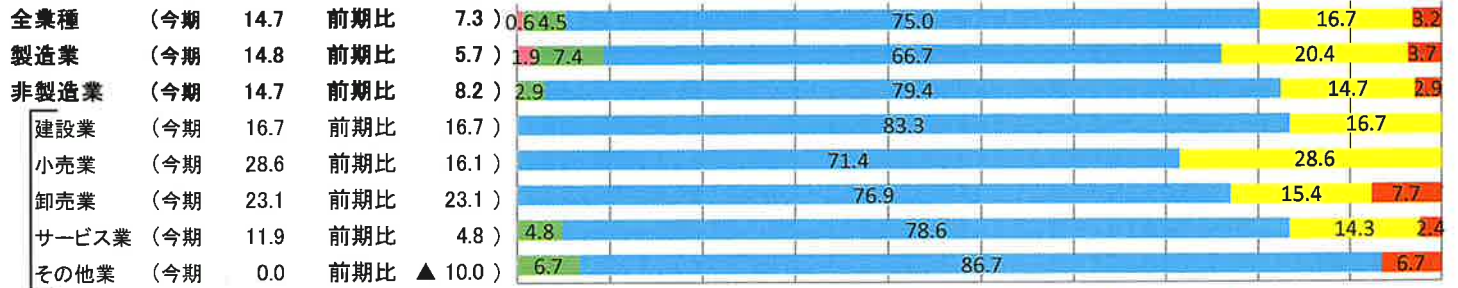
今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で▲1.9ポイント下降の11.1、非製造業で4.9ポイント上昇の15.7、全業種で2.6ポイント上昇の14.1と見通している。非製造業を業種別で見ると、「サービス業」および「その他業」で今期より上昇する見通しとなった。

【 設備DI値 】

今期(2019年1月～6月)のDI値

(設 備)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 过剩 ■ やや过剩 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2019年1月～6月)の状況

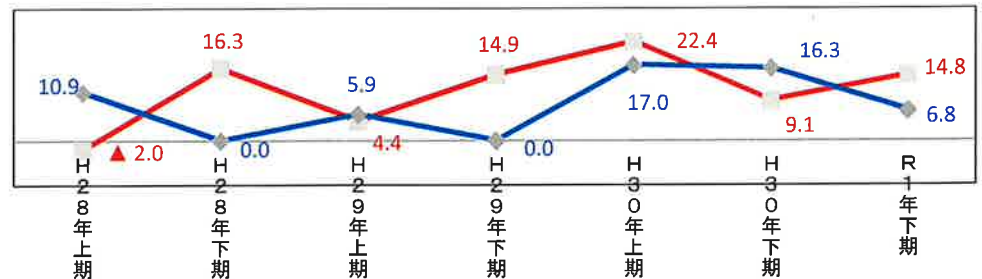
設備DI値は、製造業で14.8(前期比5.7)、非製造業で14.7(前期比8.2)、全業種で14.7(前期比7.3)となった。製造業、非製造業ともに前期比でプラスとなり、全体的にやや設備不足の傾向にあることが伺えた。

※前期比とは、前回調査(平成30年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

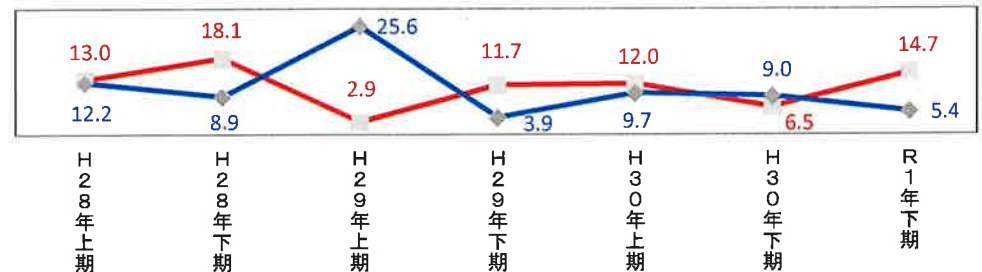
製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



来期(2019年7月～12月)の見通しDI値

(設 備)

(単位: %)



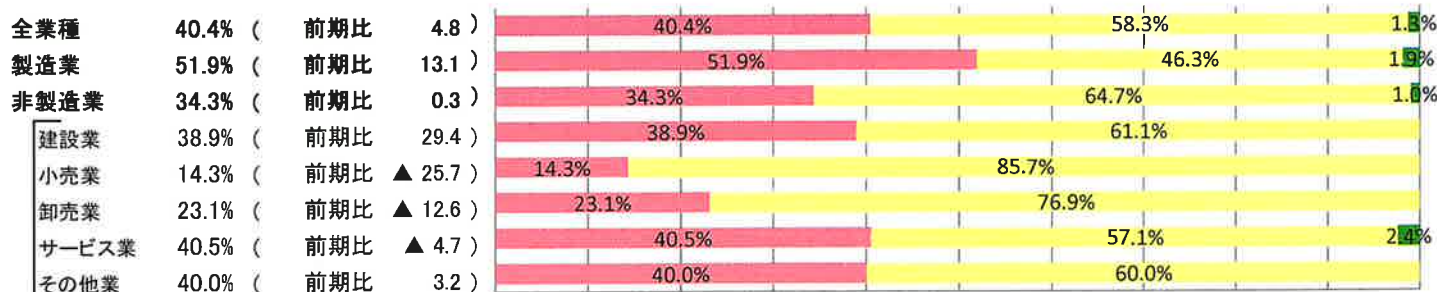
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 过剩 ■ やや过剩 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(2019年7月～12月)の見通し

今期と比べた来期の見通しDI値は、製造業で1.9ポイント悪化の13.0、非製造業で4.9ポイント悪化の9.8、全業種で3.8ポイント悪化の10.9と見通しており、全体的にやや設備不足の傾向が続く見通しが伺えた。

【 新規設備投資 】

◆今期(2019年1月～6月)の新規設備投資を実施した割合

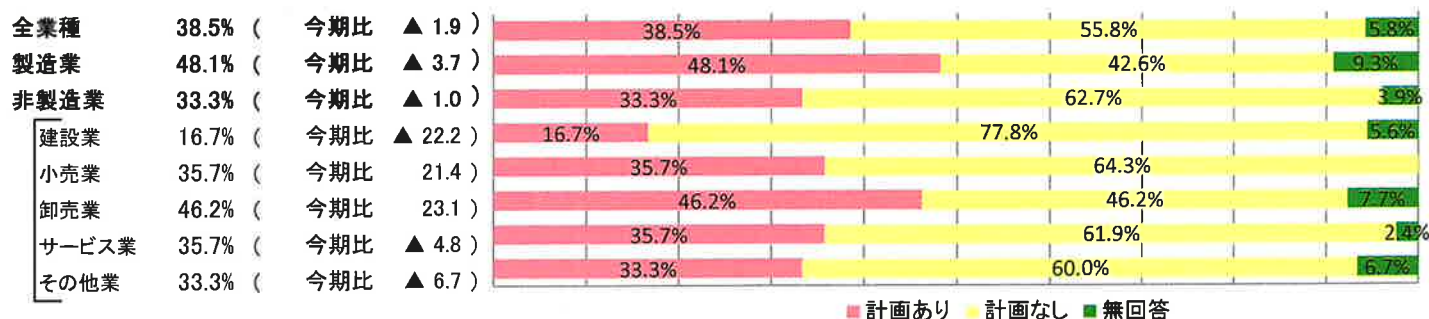


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

※前期比とは、前回調査(平成30年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

◆来期(2019年7月～12月)の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

【 直面している課題 】

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	1.9%	9.8%	0.0%	③ 21.4%	③ 15.4%	9.5%	6.7%
需要の停滞	14.8%	17.6%	5.6%	① 35.7%	② 23.1%	11.9%	③ 26.7%
為替差損	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	3.7%	7.8%	5.6%	0.0%	7.7%	9.5%	13.3%
新規参入業者の増加	1.9%	3.9%	0.0%	0.0%	7.7%	7.1%	0.0%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	20.4%	15.7%	11.1%	③ 21.4%	7.7%	11.9%	② 33.3%
生産設備の不足・老朽化	③ 24.1%	7.8%	5.6%	14.3%	7.7%	7.1%	6.7%
原材料の不足	11.1%	1.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	① 48.1%	③ 19.6%	② 38.9%	② 28.6%	① 30.8%	4.8%	20.0%
下請負単価の上昇	3.7%	6.9%	③ 27.8%	7.1%	0.0%	2.4%	0.0%
官公需要の停滞	0.0%	5.9%	5.6%	0.0%	② 23.1%	4.8%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	6.7%
金利負担の増加	0.0%	1.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%
購買力の他地域への流出	1.9%	2.9%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	6.7%
在庫の過剰	3.7%	2.0%	0.0%	0.0%	③ 15.4%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	9.3%	4.9%	0.0%	0.0%	② 23.1%	4.8%	0.0%
人件費の増加	20.4%	② 24.5%	③ 27.8%	③ 21.4%	① 30.8%	② 28.6%	6.7%
設備の過剰	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	2.0%	5.6%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%
駐車場の確保難	3.7%	1.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	3.7%	13.7%	5.6%	14.3%	7.7%	③ 19.0%	13.3%
従業員・熟練技術者の確保難	② 46.3%	① 46.1%	① 77.8%	③ 21.4%	③ 15.4%	① 50.0%	① 46.7%
燃料費(電気料金を含む)の高騰	5.6%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
その他	1.9%	8.8%	0.0%	14.3%	③ 15.4%	11.9%	0.0%

参考資料

小規模事業者（従業員：製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）

※宿泊業および娯楽業は20人以下

景況調査結果

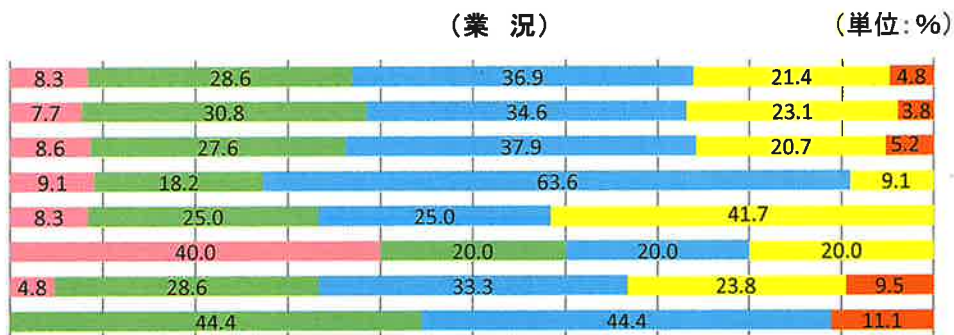
- 目的：当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間：2019年1月1日から2019年6月30日（2019年（令和元年）上期）
- 調査実施期間：2019年7月3日から2019年7月26日
- 調査方法：郵送によるアンケート方式
- 調査対象：当所管内会員事業所の小規模企業者（従業員数が製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下） 336 事業所 ※宿泊業および娯楽業は20人以下
- 回答数：84（回答率 25.0%）

従業員数		0～5人	6～20人	合計
業 種	製 造 業	6	20	26
	建 設 業	5	6	11
	小 売 業	12		12
	卸 売 業	5		5
	サービス業	21		21
	その他業	6	3	9
合 計		55	29	84

業況DI

今期(2019年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 10.7 前期比 ▲ 3.6)
製造業	(今期 11.5 前期比 ▲ 21.8)
非製造業	(今期 10.3 前期比 2.6)
建設業	(今期 18.2 前期比 ▲ 21.8)
小売業	(今期 ▲ 8.3 前期比 36.1)
卸売業	(今期 40.0 前期比 40.0)
サービス業	(今期 0.0 前期比 ▲ 17.2)
その他業	(今期 33.3 前期比 13.3)

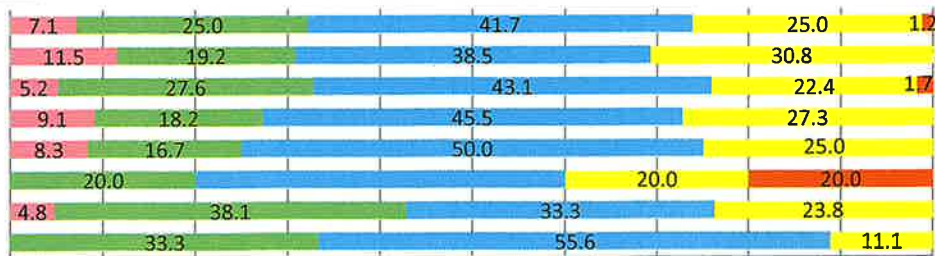


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

来期(2019年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(来期 6.0 今期比 ▲ 4.8)
製造業	(来期 0.0 今期比 ▲ 11.5)
非製造業	(来期 8.6 今期比 ▲ 1.7)
建設業	(来期 0.0 今期比 ▲ 18.2)
小売業	(来期 ▲ 0.0 今期比 8.3)
卸売業	(来期 ▲ 20.0 今期比 ▲ 60.0)
サービス業	(来期 19.0 今期比 19.0)
その他業	(来期 22.2 今期比 ▲ 11.1)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

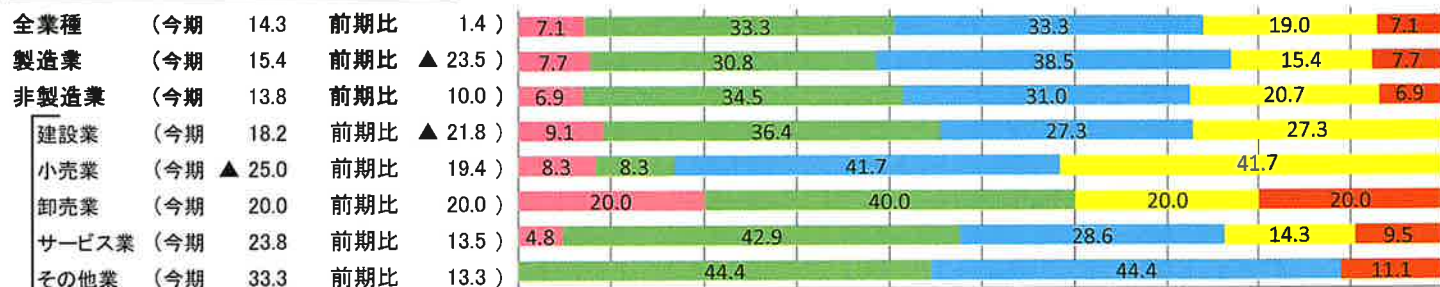
■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

売上DI

今期(2019年1月～6月)のDI値

(売上)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少

来期(2019年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

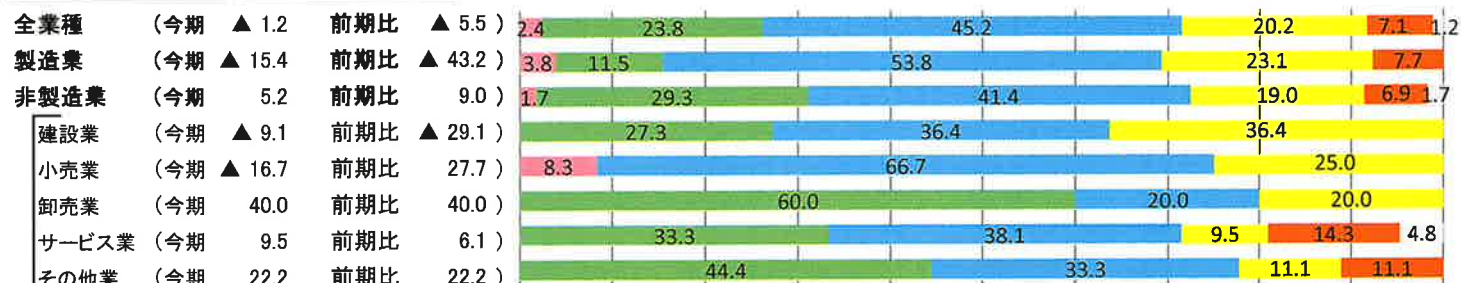
■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

採算DI

今期(2019年1月～6月)のDI値

(採算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

来期(2019年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

資金繰りDI

今期(2019年1月～6月)のDI値

(資金繰り)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

来期(2019年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

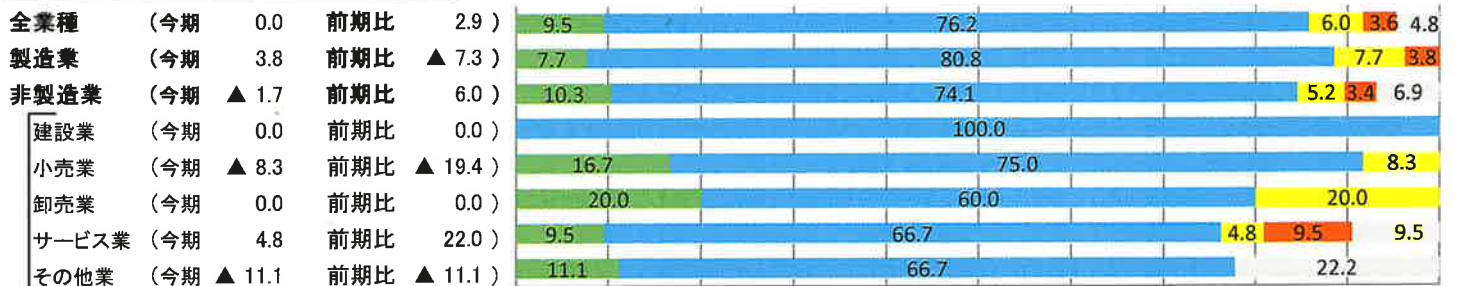
■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

在庫DI

今期(2019年1月～6月)のDI値

(在庫)

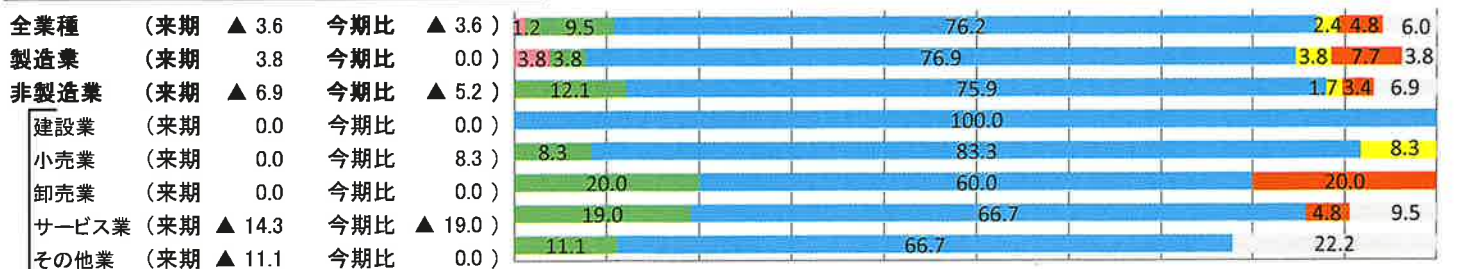
(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(2019年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

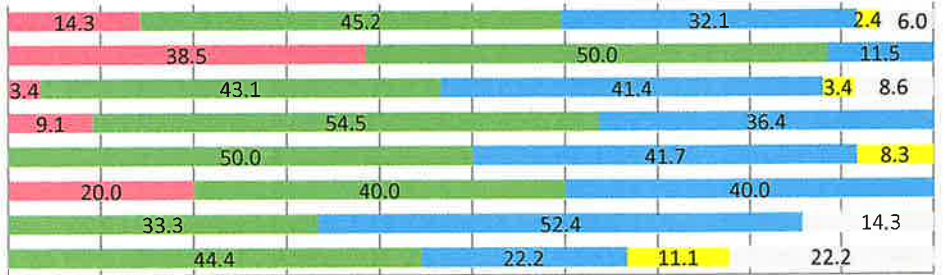
仕入単価DI

今期(2019年1月～6月)のDI値

(仕入単価)

(単位: %)

全業種	(今期 ▲ 57.1	前期比 ▲ 11.4)
製造業	(今期 ▲ 88.5	前期比 ▲ 21.8)
非製造業	(今期 ▲ 43.1	前期比 ▲ 4.6)
建設業	(今期 ▲ 63.6	前期比 ▲ 3.6)
小売業	(今期 ▲ 41.7	前期比 13.9)
卸売業	(今期 ▲ 60.0	前期比 15.0)
サービス業	(今期 ▲ 33.3	前期比 ▲ 5.7)
その他業	(今期 ▲ 33.3	前期比 ▲ 13.3)

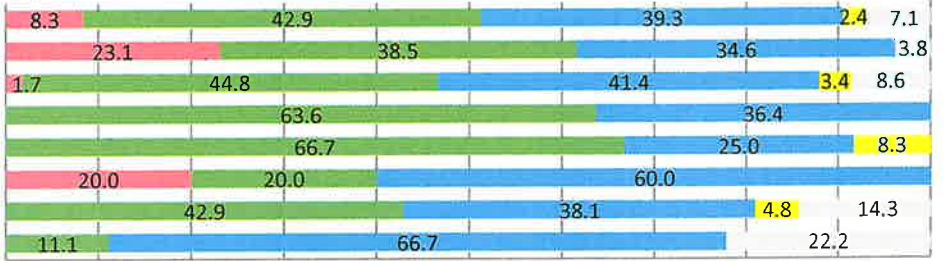


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

来期(2019年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲ 48.8	今期比 8.3)
製造業	(来期 ▲ 61.5	今期比 26.9)
非製造業	(来期 ▲ 43.1	今期比 0.0)
建設業	(来期 ▲ 63.6	今期比 0.0)
小売業	(来期 ▲ 58.3	今期比 ▲ 16.7)
卸売業	(来期 ▲ 40.0	今期比 20.0)
サービス業	(来期 ▲ 38.1	今期比 ▲ 4.8)
その他業	(来期 ▲ 11.1	今期比 22.2)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

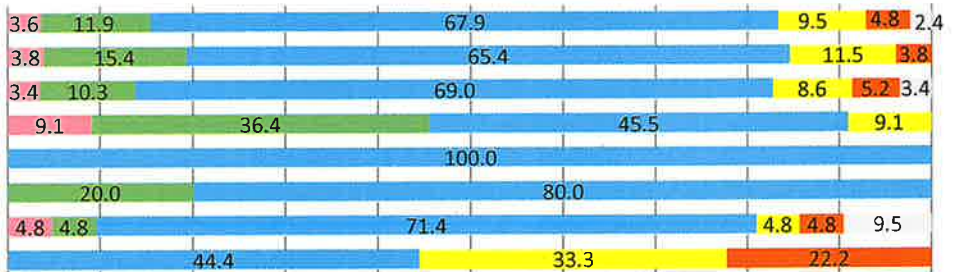
従業員数DI

今期(2019年1月～6月)のDI値

(従業員数)

(単位: %)

全業種	(今期 1.2	前期比 4.1)
製造業	(今期 3.8	前期比 3.8)
非製造業	(今期 0.0	前期比 3.8)
建設業	(今期 36.4	前期比 36.4)
小売業	(今期 0.0	前期比 11.1)
卸売業	(今期 20.0	前期比 20.0)
サービス業	(今期 0.0	前期比 3.4)
その他業	(今期 ▲ 55.6	前期比 ▲ 55.6)

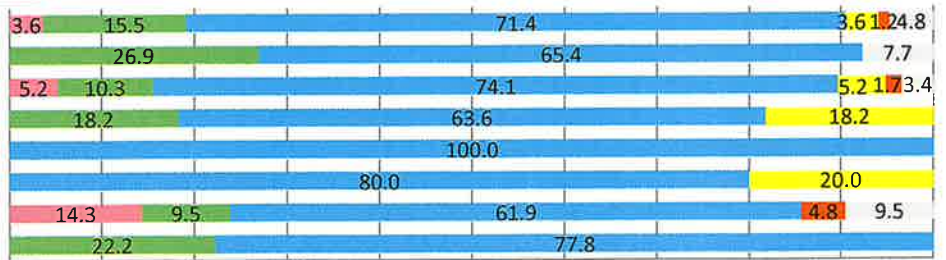


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

来期(2019年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(来期 14.3	今期比 13.1)
製造業	(来期 26.9	今期比 23.1)
非製造業	(来期 8.6	今期比 8.6)
建設業	(来期 0.0	今期比 ▲ 36.4)
小売業	(来期 0.0	今期比 0.0)
卸売業	(来期 ▲ 20.0	今期比 ▲ 40.0)
サービス業	(来期 19.0	今期比 19.0)
その他業	(来期 22.2	今期比 77.8)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

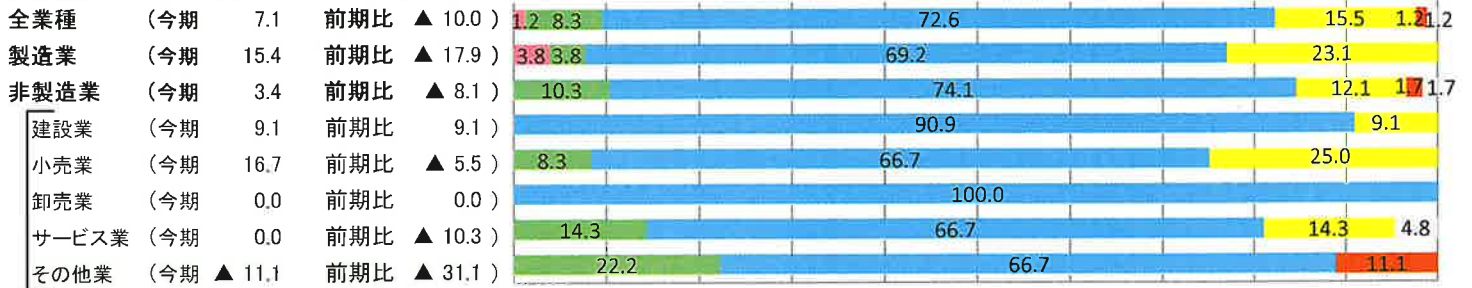
■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少

設備DI

今期(2019年1月～6月)のDI値

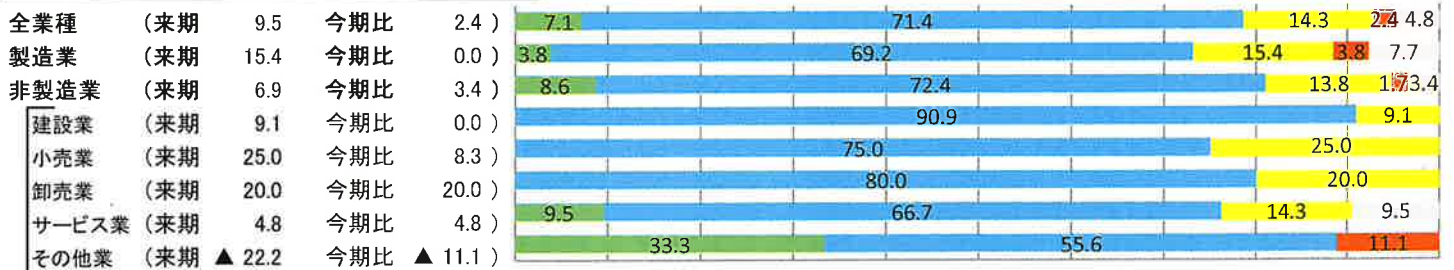
(設備)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

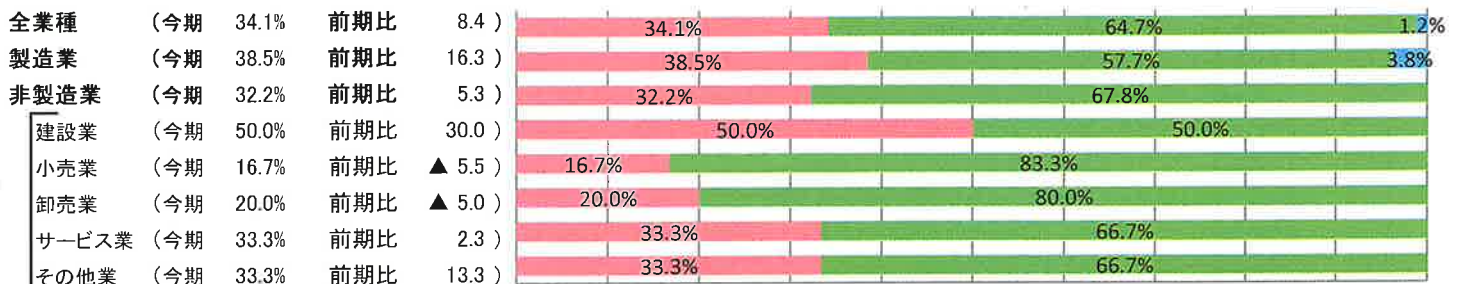
来期(2019年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

新規設備投資

◆今期(2019年1月～6月)の新規設備投資を実施した割合



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

◆来期(2019年7月～12月)の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	8.6%	0.0%	② 25.0%	0.0%	4.8%	③ 11.1%
需要の停滞	11.5%	② 19.0%	0.0%	① 33.3%	① 20.0%	9.5%	① 44.4%
為替差損	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	3.8%	5.2%	9.1%	8.3%	0.0%	4.8%	0.0%
新規参入業者の増加	3.8%	3.4%	0.0%	0.0%	① 20.0%	4.8%	0.0%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	③ 15.4%	15.5%	18.2%	③ 16.7%	① 20.0%	③ 14.3%	③ 11.1%
生産設備の不足・老朽化	3.8%	5.2%	9.1%	8.3%	0.0%	0.0%	③ 11.1%
原材料の不足	③ 15.4%	3.4%	9.1%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	① 53.8%	③ 17.2%	② 45.5%	③ 16.7%	① 20.0%	9.5%	0.0%
下請負単価の上昇	0.0%	5.2%	③ 27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
官公需要の停滞	0.0%	3.4%	9.1%	0.0%	① 20.0%	0.0%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	① 20.0%	4.8%	0.0%
金利負担の増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	3.8%	5.2%	9.1%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	5.2%	0.0%	③ 16.7%	0.0%	0.0%	③ 11.1%
在庫の過剰	3.8%	1.7%	0.0%	0.0%	① 20.0%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	3.8%	3.4%	0.0%	8.3%	0.0%	4.8%	0.0%
人件費の増加	3.8%	12.1%	③ 27.3%	0.0%	① 20.0%	9.5%	③ 11.1%
設備の過剰	3.8%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	③ 11.1%
代金回収の悪化	0.0%	5.2%	9.1%	8.3%	0.0%	4.8%	0.0%
駐車場の確保難	3.8%	1.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	7.7%	15.5%	0.0%	③ 16.7%	0.0%	② 28.6%	③ 11.1%
従業員・熟練技術者の確保難	② 50.0%	① 36.2%	① 72.7%	③ 16.7%	① 20.0%	① 33.3%	② 33.3%
燃料費(電気料金を含む)の高騰	3.8%	3.4%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	③ 11.1%
その他	3.8%	10.3%	9.1%	③ 16.7%	① 20.0%	9.5%	0.0%